

# 咽喉(のど)自己採取手順 うがい液による方法



咽喉の淋菌およびクラミジア・マイコプラズマの検査は、これまで日本性感染症学会が推奨する綿棒で採取する方法(咽喉スワップ)を採用していましたが、学会にてうがい液の方が採取しやすく、検出率も高いとの議論があり弊社では早速うがい液による方法に変更いたしました。

より検出率を高める為、朝起きてすぐ採取しましょう。それが不可能なら、2時間以上飲食を避けたあとに採取してください。

採取方法はいたって簡単ですが、採取方法をよく読んで採取してください。



1. ペットボトルのキャップ1~2杯(約10ml)の水道水で10秒間ほど、のどの奥をガラガラうがいしてください。(ペットボトルのキャップが無い場合は、ほぼ同じくらいの水道水で結構です)



2. うがい液を折りたたみ紙コップに吐き出します。



3. うがい液を水色の保存液入りチューブの赤い線まで入れてください。※水色の保存液は飲みません。



4. キャップをしっかり閉めてください。最初、逆方向に回して「カチッ」と音がしたら(うまく溝に嵌ったことを確認)、しっかりきつめに閉めてください。※重要です。シールに氏名・生年月日・最終日を記入します。



5. 容器を保存袋(チャック袋)に入れ、余分な空気をしっかり出してしっかり閉めてください。



6. 検査依頼書の赤枠で示した中に、必要事項を記入してください。

7. 返信用封筒に依頼書と保存袋を入れ、投函してください。